

---

# 大学教育学会ニュースレター

No.73 2006.9.25

---

大学教育学会 (*Liberal and General Education Society of Japan*)

事務局:北海道医療大学内 〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1757

TEL0133-23-1487(直通)/FAX:0133-23-1487

郵便振替口座:00120-4-178891 大学教育学会

e-mail: [ungakkai@hoku-iryo-u.ac.jp](mailto:ungakkai@hoku-iryo-u.ac.jp)

URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

---

## 大学教育学会2006年度課題研究集会

統一テーマ「教員組織とカリキュラム改革」

2006年度課題研究集会企画委員会委員長

青野 透 (金沢大学大学教育開発・支援センター長)

昨年7月、学校教育法の改正により、助手の位置づけの見直しを中心に大学の教員組織に関する規定が変更されました。教育の担い手である教員の組織上の位置づけが変わることは、大学教育のあり方に変容をもたらすことになるのか、具体的には、大学教育における新たな流れである「初年次・導入教育」を含むカリキュラム改革、あるいは大学教育評価等にどう結びついていくのか―法改正を機に、大学において誰が何をどう教えるのかをめぐるより深い検討が必要になっています。

大学教育研究はすべての大学教員に開かれた唯一共通の学問分野です。1979年の「一般教育学会」としての創設以来、本学会は、広範な大学教員が参加する「大学教員としての自己研究」活動に力を注ぎ、継続的テーマとして特定の課題を設定し研究を行っています。それらの研究にもとづき、今年度の課題研究集会では、前日本大学総長の瀬在幸安氏による基調講演「21世紀における大学の教学戦略」に引き続き、上記の観点から、5つのシンポジウムを開催します。

すなわち、従来からの課題研究テーマ、1、「学士課程教育に初年次教育をどう組み込むのか」2、「大学における教養教育の評価・認証の基礎」に加え、新たに提起された二つの課題研究テーマである、3、「FDのダイナミクス―現状の把握と課題の析出―」4、「学士課程における理系基礎教育―教養教育からキャリア教育まで」、そして最後に、統一テーマに基づく、5、「教員の所属のあり方とカリキュラム」の5シンポジウムです。

学校教育法が規定する「学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させる」という大学の現在と未来を、初年次、教育評価、FD、基礎教育、及び教員組織をキーワードに描きだすことを試みます。教員組織を含む制度上の変更は本来、学生に対する教育の質的向上につながるべきものです。ちなみに、共催させていただきます金沢大学では、平成20年をめどに、現行の8学部を3学域16学類に再編・統合する計画が進んでおります。それぞれのシンポジウムにおいて、参加者相互の活発な討論により、大学教員のあり方、そしてカリキュラム改革等の具体的方策について、加速的に進む大学教育改革のなかで、学生への教育改善を目指すための明確な視座を提示することができれば幸いであると考えます。

晩秋の金沢、平年の初雪はこの頃です。兼六園の向かいにあった金沢城内キャンパスを含む市内中心部からの十数年かけた移転(医学部を除く)を昨年終えた角間キャンパス(広さ約200万平米)は、郊外の里山にあります。暖かくしておいでください。

大学教育学会  
2006年度課題研究集会  
実施要項

統一テーマ：「教員組織とカリキュラム改革」

主催：大学教育学会 共催：金沢大学

期日：2006年11月25日(土)・26日(日)

会場：金沢大学角間キャンパス 文法経済学部棟(石川県金沢市角間町)

スケジュール

第1日：11月25日(土) 文法経済学部棟1階

12:20 13:00 13:30 15:00 15:15 17:45 18:00 20:00

|    |      |      |    |                       |    |     |
|----|------|------|----|-----------------------|----|-----|
| 受付 | 開会挨拶 | 基調講演 | 休憩 | シンポジウム I<br>シンポジウム II | 移動 | 懇親会 |
|----|------|------|----|-----------------------|----|-----|

懇親会 角間キャンパス 大学会館2階

第2日：11月26日(日) 文法経済学部棟1階

9:00 9:30 12:00 13:15 15:45 16:00

|    |                         |    |          |      |
|----|-------------------------|----|----------|------|
| 受付 | シンポジウム III<br>シンポジウム IV | 昼食 | シンポジウム V | 閉会挨拶 |
|----|-------------------------|----|----------|------|

関連行事

11月25日(土)10:00～12:00 常任理事会(文法経済学部棟2階L204講義室)

**第1日目** \_\_\_\_\_ 文法経済学部棟1階

12:20 受付開始(文法経済学部棟1階ロビー)

13:00 開会(文法経済学部棟1階A101講義室)

共催校学長挨拶(林 勇二郎 金沢大学長)

学会会長挨拶(寺崎 昌男 大学教育学会会長)

13:30 基調講演 「21世紀における大学の教学戦略」

講演者：瀬在 幸安氏 ((財)私学研修福祉会理事長、日本冠動脈外科学会理事長、前日本大学総長) 昭和5年長野県生まれ、医学博士。専攻は心臓外科学。日本大学医学部長等を経て、平成8年日本大学総長就任。国際教育交流協議会会長、日本私立大学連盟常務理事等を歴任。医学専門著書の他に、対談集『知の復活をめざして 21世紀の大学を考える』(朝日カルチャーセンター、1996年)、共著『学長 大学改革への挑戦』(天野郁夫編、玉川大学出版部、2000年)等。

15:00 休憩

15:15-17:45

### シンポジウムⅠ (文法経済学部棟1階A101講義室)

#### 学士課程教育に初年次教育をどう組み込むのか

主旨 本シンポジウムは、これまで3年間初年次教育・導入教育研究委員会が研究を積み重ねてきた成果のまとめであり、「初年次教育」あるいは「導入教育」と呼ばれる教育プログラムについて、現状分析と今後の活用についての具体的方法と課題の整理を行う。具体的には、概念の整理、日本でどのような教育効果をもたらす可能性があるのか、どのように導入していけばいいのか、評価をどうすればいいかなどについて、日米の第一線の研究者と実践者を集め、議論し、整理していく。

#### 1. 初年次教育・導入教育研究委員会報告(1)「調査データからみた日本の初年次教育」

①「学生パネル調査から明らかになった日本における初年次教育の可能性」:白川 優治(早稲田大学)

②「大学機関調査からみた日本における初年次教育の可能性と課題」:山田 礼子(同志社大学)

#### 2. 初年次教育・導入教育研究委員会報告(2)「日本の初年次教育・導入教育GP選定の試み」 :川島 啓二(国立教育政策研究所)

#### 3. シンポジウム

シンポジストと課題:

①Randy Swing(アメリカ・Policy Center on the First Year of College)「初年次教育はいかに(アメリカの)学士課程教育改革に影響したか(仮題)」(通訳:吉原 恵子)

②濱名 篤(関西国際大学)「初年次教育・導入教育・キャリア教育・リメディアル教育との関係～学士課程教育の観点から～」

③山田 礼子(同志社大学)「初年次教育のための組織体制づくり」

④川嶋 太津夫(神戸大学)「初年次教育の評価をどうするか」

司会:近田 政博(名古屋大学)

### シンポジウムⅡ (文法経済学部棟1階A102講義室)

#### 学会課題研究「大学における教養教育の評価・認証の基礎」の中間報告について

主旨:2004年から3年間、「大学における教養教育の評価・認証の基礎」に関する課題研究が行われた。その中間報告を行い、主要な論点について討論する。

「評価の目的」を「連携／競争」の最適な組み合わせを通じた「大学セクター」全体の強化、「システム評価」より「内容評価」を重視、「評価主体」は主として大学教員によって構成される学協会的組織、「評価活動」に際しては、経験交流・対話などを通じた相互啓発型活動を重視する。

シンポジスト:後藤 邦夫(NPO学術研究ネット)、坂井 昭宏(北海道大学)、浦野 光人(ニチレイ(株)社長、経済同友会教育問題委員会委員長)

指定討論者:関根 秀和(大阪女学院大学)、寺崎 昌男(立教学院)

司会者:舘 昭(桜美林大学)、佐々木 一也(立教大学)

17:45 懇親会場への移動

18:00 懇親会 大学会館2階

9:00 受付開始 (文法経済学部棟1階ロビー)

9:30-12:00

**シンポジウムⅢ (文法経済学部棟1階A101講義室)**

**FDのダイナミクスー現状の把握と課題の析出ー**

主旨:課題研究「FDのダイナミクスー第一次調査のフォローアップと新たなモデル」のための基礎的な議論を試みる。つまり、第一に、一般教育学会が実施した前回調査(『大学教育研究の課題』玉川大学出版所収)の継承すべき理念などをはっきりさせ、さらに第二に、前回調査以後の諸種のFD実施状況調査などをまとめ、これをふまえて、前回調査の理念などの現実性を検討し、FDのありようについてその現代的課題を明確にする。

シンポジスト:絹川 正吉(前国際基督教大学)、松下 佳代(京都大学)、夏目 達也(名古屋大学)、山内 正平(千葉大学)

司会者:井下 理(慶應義塾大学)、田中 每実(京都大学)

**シンポジウムⅣ (文法経済学部棟1階A102講義室)**

**学士課程における理系基礎教育ー教養教育からキャリア教育まで**

主旨:学士課程における理系基礎教育を、どのレベルから、どの範囲で、どの程度行うかを明らかにすることは、設置基準の大綱化以来の基本的で重要な課題である。90年代においては、各大学とも旧一般教養課程の内容を多少手直しする程度で済ませてきたが、2000年代に入って全般的な学力低下、少子化、キャリア教育の要請などから、根本的な立て直しが図られている。本シンポジウムでは、この問題に積極的に取り組んで特色GP・現代GPなどに採択された評価の高い事例を紹介し、次世代の理系基礎教育のあり方をさぐる。

シンポジストと演題:

①金子 洋之(慶應義塾大学)「文系学生への実験を重視した自然科学教育」

②渡邊 敏正(広島大学)「工学系基礎学力の評価と保証」

③西村 伸也(新潟大学)「企業連携に基づく実践的工学キャリア教育」

指定討論者:小笠原 正明(東京農工大学)、秀島 武敏(千葉大学)

司会:松岡 正邦(東京農工大学)、吉永 契一郎(東京農工大学)

12:00-13:15 昼食 休憩

**13:15-15:45 (文法経済学部棟1階A101講義室)**

**シンポジウムⅤ 教員の所属のあり方とカリキュラム**

主旨:昨年7月の学校教育法改正により「教員の職」に関する制度変更がなされ、本年3月の大学設置基準改正では、「講座/学科目制」規定削除および、教員間の適切な役割分担等に関する規定新設があった。こうした高等教育制度の転換が、カリキュラム改革を含む大学教育改革にどう結びついていくのか、議論を深めていきたい。なお、本シンポジウムは平成17年度・18年度の文部科学省委託「今後の『大学像』の在り方に関する調査研究:教員の所属組織」事業による経過報告の一部をなすものである。

シンポジスト:工藤 潤(大学基準協会)、高田 重男(金沢大学)、古畑 徹(金沢大学)、山崎 光悦(金沢大学)、渡辺 達雄(金沢大学)

司会者:早田 幸政(金沢大学)

15:45 学会会長挨拶、次年度大会開催校・課題研究集会校紹介

15:50 閉会挨拶 2006年度課題研究集会実行委員会委員長

鹿野 勝彦(金沢大学理事(教育担当)・副学長)

16:00 閉会

お願い

- ・会場建物内は禁煙です。建物周辺での喫煙もご遠慮ください。
- ・会場内での携帯電話のご使用はご遠慮ください。ご入場の際は電源を切るか、マナーモードにご設定ください。

## 2006 年度課題研究集会に関するお問い合わせは下記にお願いいたします

〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学 大学教育開発・支援センター  
担当:青野 TEL 076-264-5837 FAX 076-234-4172  
[info-rche@ge.kanazawa-u.ac.jp](mailto:info-rche@ge.kanazawa-u.ac.jp)

金沢大学大学教育開発・支援センターHP内に、課題研究集会のHPを開設しております(大学教育学会HPからもリンクしています)。課題研究集会に関する最新情報のほか、観光案内へのリンク等、役立つ内容になっていますので、ご活用ください。

### < 課題研究集会参加要領 >

#### 1. 課題研究集会参加のお申込み及び参加費払い込み

課題研究集会に参加される方は、①～③のいずれかの方法で参加登録をお願いいたします。

**申込締切りは11月6日(月)厳守とします。郵便振替口座への入金も同時にお願ひします。**

なお、締め切り後にご入金の場合、課題研究集会までに口座への入金を確認できないことが予想されますので、**ご入金時の郵便振替払込請求書兼受領証を必ずご持参ください。**

参加費は参加者一名につき払込取扱票一枚でご入金ください。領収書は受付でお渡しします。

①FAX:同封の参加申込用紙にご記入の上、076-234-4172 までご送信ください。

②郵便:同封の参加申込用紙にご記入の上、下記までご送付ください。

〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学総合教育棟 大学教育開発・支援センター宛

③e-mail:参加申込用紙の各項目を明記の上、**タイトルに「課題研究集会」と記して、送信してください。** e-mail: [info-rche@ge.kanazawa-u.ac.jp](mailto:info-rche@ge.kanazawa-u.ac.jp)

参加費等

|                      |    |        |    |        |
|----------------------|----|--------|----|--------|
| *課題研究集会参加費(『要旨集』を含む) | 一般 | 4,000円 | 学生 | 1,000円 |
| *懇親会費(11月25日)        |    | 3,000円 |    |        |
| *弁当代(11月26日)         |    | 1,000円 |    |        |
| *『要旨集』のみ(送料込み)       |    | 1,000円 |    |        |

・非会員の方も参加できます。「参加申込書」のコピー、郵便局備え付けの振込用紙等をご利用になり、上記と同様の手続きをしてください。

・学生・院生の方々が参加しやすいよう、参加費を割引しております。会員の皆様におかれましては、非会員の学生・院生も含め、広く課題研究集会への参加を促していただきますようお願いいたします。また、これを機会に本学会加入呼びかけへのご協力もお願いします。

- ・ 当日の参加申込みも可能ですが、**準備の都合上、事前手続きに是非ともご協力ください。**
- ・ お払い込みの参加費等は、理由を問わず返却いたしません。予めご了承ください。
- ・ 参加費等を払い込みながらご欠席の場合は、後日、『要旨集』をお送りします。
- ・ 課題研究集会当日は、課題研究集会の受付の他、学会事務局の受付も設置し、入会申込み、未納会費納入、会誌バックナンバー・学会出版物の頒布等を行います。

## 2. 26日(日)の昼食のご案内

- ・ 大学の周辺に飲食店はありません。キャンパス内生協食堂は、25日(土)の昼食時間帯(11:00～13:30)は営業していますが、26日(日)は休業です(生協購買も同様です)。

そのため、**26日の昼食は、学内で提供できますのは、予約された弁当のみとなります。ご希望の方は、参加費とともに弁当代1,000円を払い込んでご予約ください。**ご予約済みの方には、受付の際に「弁当予約券」をお渡ししますので、当日、弁当とお引き換えの上、控え室でお召し上がりください。ご不便をおかけしますが、ご了承ください。

## 3. アクセスと宿泊のご案内

- ・ 東京から 空路 羽田空港 — 小松空港 一日11往復 所要 約1時間

小松空港 — 金沢駅 連絡バス(運賃1100円) 所要 約40分

JR 東京駅 — 上越新幹線 越後湯沢経由 — 金沢駅 (最短 3時間47分)

大阪から JR 大阪駅 — 金沢駅 (最短 2時間35分)

- ・ 金沢市内から会場へは、公共交通機関をご利用下さい。バスの場合、所要時間は、**金沢駅(東口バス乗り場)から約40分、香林坊(こうりんぼう)から約30分**です。運賃は金沢駅、香林坊のいずれからでも金沢大学まで350円です。角間キャンパス内にバス停は3箇所ありますが、**終点で下車**してください。時刻表および主要バス停地図は別紙のとおりです(北陸鉄道バス「テレホンサービス」(076)237-5115(AM8:00～PM19:00)もご利用ください)。なお、25日の懇親会終了後に、香林坊・武蔵ヶ辻経由金沢駅行きのチャーターバス(無料)を用意する予定です。

タクシーご利用の場合は、「金沢大学角間(かくま)キャンパス、路線バスの終点バス停まで」と告げてください。料金は金沢駅から、3,000円前後です。

- ・ 宿泊ご希望の方は、同封の案内に従いお申し込みください。

## 4. 振替口座

- ・ 会員の方は、同封の郵便払込取扱票をご利用いただくと便利です。なお、**学会の年会費の郵便払込取扱票とは別になっていますので、ご注意ください。**

課題研究集会 郵便振込口座

加入者名:大学教育学会

口座番号:00790-4-94050

## 第二回大学教育学会奨励賞の募集について

2005年6月の本学会総会決定に基づき、第二回本学会奨励賞を募集いたします。  
自薦他薦は問いませんので、会員の皆様の積極的なご応募を期待します。  
詳細は、下記の大学教育学会奨励賞規定及び募集要項をご覧ください。

### ○大学教育学会奨励賞規定

(趣旨) 本学会は、本会会員による大学教育研究(事例研究を含む)の発展を期するために、大学教育学会奨励賞を創設し、この分野において優秀な論文を発表した者にこれを授与します。

当該研究領域は、すべての大学教員に開かれた唯一共通の学問分野です。本学会は、会員諸氏を初めとして、我が国の大学教員がこの領域において研鑽を重ね、大学教育の更なる発展に貢献することを期待します。

#### 1. (名称、正賞および副賞)

本賞は、大学教育学会奨励賞と称し、賞状及び副賞10万円を授与する。

#### 2. (受賞対象者および対象となる研究領域)

受賞対象者は本学会会員とし、対象領域は大学教育研究(事例研究を含む)とする。

#### 3. (受賞対象となる研究論文掲載誌)

受賞対象となる論文は、本学会誌に投稿し掲載されたものとする。

#### 4. (対象論文の発表年度)

当該年度の受賞対象は、各年度11月末刊行の本学会誌掲載論文までとする。

本賞第一回の受賞対象となる論文は、過去5年以内に、第二回以降は過去3年以内に本学会誌に掲載されたものとする。

[以下、略]

### ○平成17年度大学教育学会奨励賞募集要項

#### 1. (応募資格) 本学会会員にかぎる。

#### 2. (対象論文) 本学会誌(26巻1号から28巻2号まで)に掲載された論文。

#### 3. (提出書類)

(自薦の場合) 論文、応募者の略歴及び業績一覧、応募理由(研究の意義・成果など1,000字以内)

(他薦の場合) 論文、推薦理由(研究の意義・成果など1,000字以内)

#### 4. (応募締め切り) **2006年12月20日(必着)**

## ＝事務局から＝

### ● 会費納入のお願い

今年度(2006年度)の会費が未納の方および過年度の会費、会誌代が未納の方々には、請求書、郵便払込取扱票を同封させていただきましたので**10月31日(火)**までにご入金ください(領収証につきましては、郵便払込票の受領証をもって替えさせていただきます)。行き違いの場合にはご容赦のうえ、事務局までご連絡ください。

**年会費等郵便振替口座 00120-4-178891 「大学教育学会」**

ご入金はなるべく同封の**郵便払込取扱票**をご利用ください。やむを得ず、**銀行からご入金を希望される場合は、お手数でもご入金前に必ず事務局までその旨ご連絡ください。**

なお、今回は2006年度課題研究集会用の郵便払込取扱票も同封されておりますのでお間違えのないようご注意ください。

### ● 大学教育学会第29回(2007年度)大会について

2007年度第29回大会は6月9日(土)～10日(日)に東京農工大学小金井キャンパス(東京都小金井市)で開催予定です。

### ● 2007年度課題研究集会について

2007年度課題研究集会は12月1日(土)～2日(日)に龍谷大学(京都府京都市)で開催予定です。

### ● 第4回教育学関連15学会共同公開シンポジウムについて

2006年8月26日(土)、立教大学池袋キャンパスにおいて「教育基本法改正案と日本の教育－教育基本法改正問題を考える－」をテーマに15学会共同公開シンポジウムが開催されました。

### ● 学会事務局の移転について

今年6月12日より、事務局が北海道医療大学(北海道石狩郡)に移転いたしました。各種お問い合わせや、資料等の送付先は、下記のとおりです。ご承知おきくださいますようお願いいたします。

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757 北海道医療大学内  
大学教育学会事務局 事務局長 小野 滋男  
TEL&FAX 0133-23-1487 e-mail [ungakkai@hoku-iryo-u.ac.jp](mailto:ungakkai@hoku-iryo-u.ac.jp)  
URL は変更ありません <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

### ● 『あたらしい教養教育をめざして』刊行と販売のお知らせ

2004年12月に東信堂より刊行された『あたらしい教養教育をめざして－大学教育学会25年の歩み 未来への提言－』を事務局にて税込¥3,045(別途送料1冊¥300)で販売中です。



事務局 ● 北海道医療大学内

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757

TEL 0133-23-1487 FAX 0133-23-1487

E-mail [ungakkai@hoku-iryo-u.ac.jp](mailto:ungakkai@hoku-iryo-u.ac.jp)

URL <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>